



(4,000円)

実用新案登録願

昭和55年5月 2日

特許庁長官殿

1. 考案の名称

半田ごて

2. 考案者

実用新案登録出願人に同じ

3. 実用新案登録出願人

郵便番号 618

住所 京都府乙訓郡大山崎町字大山崎  
小字白味才20番地

氏名 福田 義二



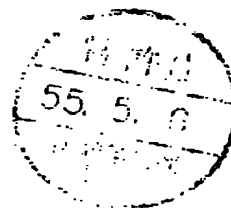
電話

075-961-0190

4. 添付書類の目録

✓(1) 明細書 1通

✓(2) 図面 1通



55 061152

160660

方式  
審査



BEST AVAILABLE COPY

## 明 細 書

### 1. 考案の名称 半田ごて

### 2. 実用新案登録請求の範囲

送りレバー 4、軸 5、送りローラ 7、ラチェットギヤ部 7'、爪ばね 8、8'、復帰ばね 9 を備えた保持体 6 の一端を、本体 10 と軸ピン 11 で揺動自在に軸着し、係合部 6' を本体係合部 10' と着脱自在に係合する糸状半田供給装置。

### 3. 考案の詳細な説明

本考案は片手で把持し、糸状半田を過不足なく所要量だけ送り出して、こて体に衝合溶融させる半田ごてに関するものである。

本考案を図面について説明するに、1 はこて体、2 は加熱体である。加熱体によって熱せられたこて体 1 は、本装置により供給された糸状半田 3 の先端部 3' と衝合し、糸状半田を溶融せしめ、半田作業を行う。

4 は送りレバーであり、5 は送りレバー 4 の軸である。保持体 6 は送りレバーを揺動自在に軸 5 をもって軸支する。7 は糸状半田 3 を送給せしめる

送りローラであり、送りローラは送りレバー4に対し、軸5のまわりに回転自在に装着せしめる。軸5の両端は保持体6の軸支部15にて支えられる。送りローラはラチエットギヤ部7'を有する。8、8'は爪ばねであり、爪ばね8の一端は送りレバー4の4'部に固着せしめ、他端はラチエットギヤ部7'と係合する。

今送りレバーをA矢印方向に押し込むならば、爪ばね8と係合するラチエットギヤ7'及び送りローラは時計方向に回転する。

爪ばね8'の一端は保持体6の6'部に固着せしめ、他端はラチエットギヤ部7'と係合する。

爪ばね8'のラチエットギヤとの係合は、ラチエットギヤの時計方向回転に対してはその回転を妨げるものではないが、反時計方向の回転に対しては爪ばね8'の一端がラチエットギヤと係合し、回転は不能となる。

9はA矢印方向に押し込まれた送りレバーを元の位置に復帰せしめるばねである。従って送りレバーの押し込み力を解除すれば、送りレバーは元の

位置に復帰する。この際ラチエットギヤは、保持体に対して、反時計方向回転は爪ばね 8' とラチエットギヤの係合により妨げられる。

従って、送りレバー 4 はラチエットギヤを保持体に対して回転させることなく、元の位置に復帰させることができる。

本体 10 の先端部に加熱体 2 を固着し、加熱体の先端部にこて体 1 を固着する。本体 10 は本体先端近くに設けた軸ピン 11 により、保持体 6 を揺動自在に支承する。10' は本体 10 の突起部であり、保持体 6 の突起部 6' と係合し、常時使用状態に於いては、第 1 図の如き形状を保つ。

今本体 10、保持体 6 を片手で把持し、その握力でもって、送りローラ 7 と糸状半田 3 とを適圧接触せしめると共に、送りレバー 4 を復帰ばね 9 の反発力に抗して A 矢印方向に押し込むならば、爪ばね 8 と係合するラチエットギヤは時計方向に回転力が与えられ、同時に時計方向に回転する送りローラは糸状半田 3 をこて体 1 方向へ送給せしめる。更に送りレバー 4 に加えた力を解除すれば、

送りレバーは復帰ばね 9 の反発力で元の位置に復帰するが、送りローラは爪ばね 8' とラチェットギヤ 7' の係合により、反時計方向回転は阻止され、糸状半田 3 が引き戻されることはない。

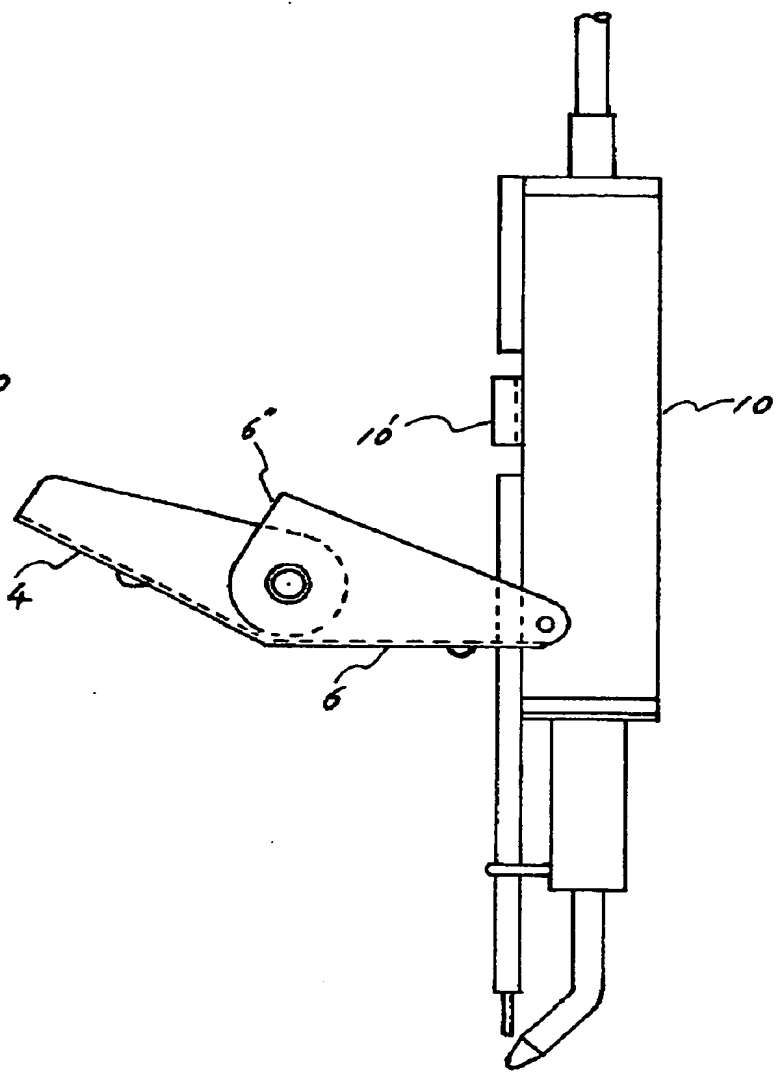
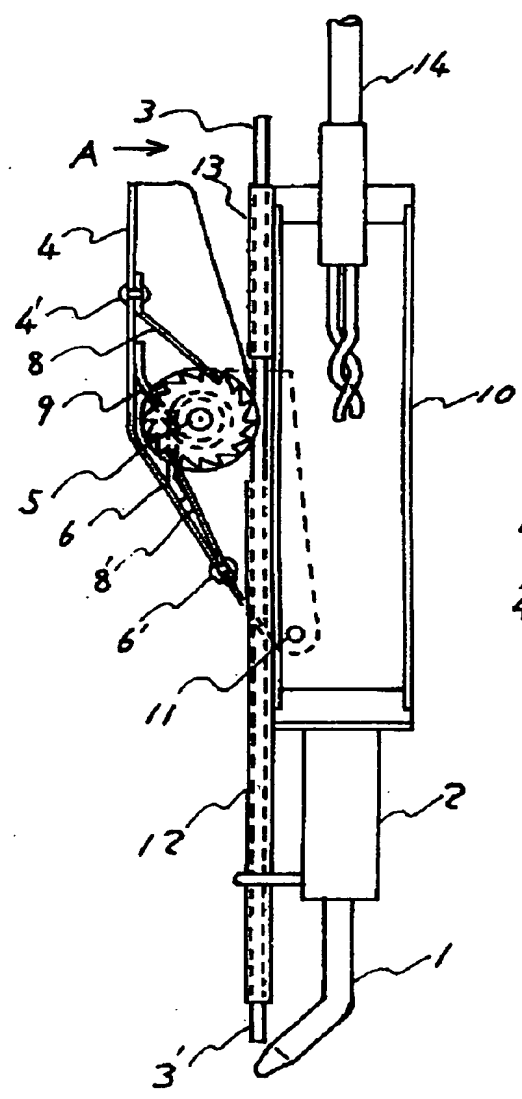
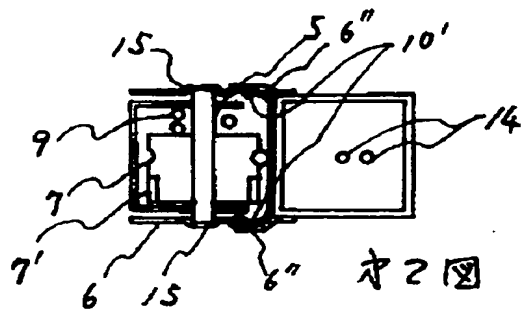
1 2 は糸状半田 3 を送りローラにより、こて体 1 へ供給する案内管である。1 3 は本体 1 0 の外部より送りローラ 7 へ糸状半田を供給する案内管である。1 4 は加熱体に接続、通電し、こて体を熱するための電気コードである。

以上の如き構造を持つ糸状半田供給装置に於いて、糸状半田を本体 1 0 外部より、送りローラを経て、こて体 1 まで新たに装着するに際し、第 3 図に示す如く、保持体に外力を加え、保持体の 6' 部と本体の 1 0' 部との係合を解くことにより、糸状半田装着作業を容易ならしめると共に、送りローラの保守点検を容易にした糸状半田供給装置である。

#### 4. 図面の簡単な説明

図は本考案半田ごてを示すもので、第 1 図は使用状態の縦断面図、第 2 図は B - B 断面図、第 3

図は保持体を開放した図である。



実用新案登録出願人 福田義一

Translation of Japanese Utility Model Laid-open No. 56-160660/1981

1. Title of Invention: SOLDERING IRON

2. Claim:

A solder applicator comprising a holder body 6 having a feeding lever 4, a roller means 7, a ratchet gear portion 7', nail springs 8, 8' and a return spring 9, wherein one end of the holder body 6 is swingably held by means of a body 10 and an axial pin 11, and a connecting portion 6" is removably coupled with a body coupling portion 10'.



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.